

ヒューリックは環境配慮経営を推進し、地球環境問題に対して積極的に取り組むことで持続可能な社会の実現に貢献します。

ヒューリックを取り巻く社会的背景

2015年には、COP21(国連気候変動枠組条約第21回締約国会議)が開催され、2020年以降の温室効果ガス排出量削減等の新たな国際的な枠組みとして「パリ協定」が採択されました。また、日本では「地球温暖化対策計画」が策定されるなど、環境課題解決への社会からの要請は高まっています。

社会課題解決に向けた取り組み

- > 2030年を目標年度としたCO₂排出量削減計画の策定・実施
- > 再生可能エネルギーの有効活用
- > 長寿命化ビル設計の積極的採用による廃棄物削減
- > 省エネ技術の開発・導入
- > 生物多様性の保全や緑化の取り組み

環境への取り組み



環境マネジメント

基本的な考え方

当社は環境基本方針に基づいた環境配慮経営を実施し、地球環境の保全に貢献します。

2016年度の実績 2030年に向けたCO₂排出量削減計画とロードマップを策定

環境方針

CSRビジョンを具体化した環境方針を制定し、環境に配慮した経営を実践します。

環境基本方針

1 環境コンプライアンス

環境関連法令・規則を遵守し、サステナブル社会の形成に努めます。

2 環境マネジメントシステム

環境目標を設定し、その継続的改善を図っていく中で、地球環境保全に貢献していきます。

3 環境パフォーマンス

開発の企画段階から環境配慮設計を導入することで環境への負荷をできる限り低減し、環境効率性を向上させていきます。

4 循環型社会

建物のライフサイクルを通じて「リデュース・リユース・リサイクル」の3Rを推進し、循環型社会の形成に寄与します。

5 社員の環境意識啓発・環境教育

社員一人ひとりが環境パフォーマンス向上に向けて自主的に行動できるように、環境教育・啓発活動に取り組んでいきます。

6 環境コミュニケーション

ヒューリックの環境貢献活動の情報を広く開示するとともに、地域社会をはじめとするステークホルダーと対話し、地球環境保全の輪をひろげていきます。